

○ 調査問題

- (1) 高山さんは学級新聞でどのような工夫をしていますか。次の1〜5の中からふさわしいものを、二つえらびましょう。
- 1 メイの世話をする手順を、写真などの資料を用いて書いている。
  - 2 メイの注目してほしい所を、呼びかけの言葉を用いて書いている。
  - 3 メイのかわいい情報を、メイとほかのヤギをくらべて書いている。
  - 4 メイの思い出を、音や動きをあらわす言葉を用いて書いている。
  - 5 メイのふだんの様子を、自分が体験したことに基づいて書いている。

【高山さんと林さんの会話】

林さん …… 学級新聞を読んでメイとふれ合ってみたいと思いました。ふれ合うことはできますか。

高山さん …… はい、できます。ふれ合うときに、気をつけてほしいことが三つあります。一つめは、ふれ合う前と後に手を洗うこと、二つめは、生き物係や先生につきさぐってもらうこと、三つめは、大きな音を出さないようにすることです。

林さん …… 大きな音を出さないようにするのはなぜですか。

高山さん …… ヤギはとてもこわがりで、大きな音を出すとおどるにげてしまふからです。

林さん …… わかりました。ありがとうございます。

【学級新聞の一部】

学校にくらす生き物を知ろう

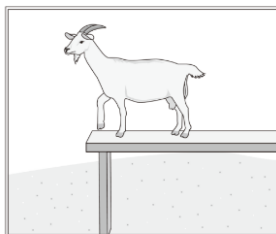
みなさんは、生き物係が中心となって世話をしているヤギの「メイ」を知っていますか。

メイはメスのヤギで、二才になります。毛は白く、さらさらです。

生き物係は、曜日ごとに交代でエサをあげたり、ヤギ小屋のそうじをしたりしています。エサは、主に牧草をあげますが、メイがあきないように野草や野菜くずもあげます。

メイは高いところがお気に入りです、そうじ中は、よく木の台の上に乗ります。ヤギは足の先がヒツメになっているため、木や岩場なども軽々とのぼるそうです。

うれしいときは、犬のようにしっぽをふって、こちらに向かって何度か鳴きます。とてもかわいいので、みなさんもメイに会ったら、しっぽに注目してみましょう。(高山 はな)



↑木の台に上がるメイ(写真)

14 高山さんは生き物係で、学校で飼っているヤギの「メイ」について学級新聞で紹介することになりました。次は、高山さんが書いた【学級新聞の一部】と、それを読んだ【高山さんと林さんの会話】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 学級新聞の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。
- 【出題の趣旨】 発表の内容を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 2と5を解答	2 2と5以外を 解答	3 2以外と5を 解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	15.9%	27.1%	20.4%	21.0%	15.6%

- 正答率は15.9%であった。解答類型2と3を合わせると47%。選択肢のどちらか一方は読み解けているが、もう一方の内容の読み解きが不十分であったと考えられる。
- 選択肢1の「世話」「写真」、選択肢3の「音」等の明確に書かれたわかりやすい言葉に注目しやすい。
- 各選択肢の文章前段は、内容について書かれており、後段は書き方の工夫について書かれている。片方だけあっているものを選択してしまうと誤答となってしまうため、内容、書き方の工夫の両方についてあっているものに着目して答えを選択する必要がある。

○ 指導上のポイント

**相手や目的を意識し分かりやすく伝えるための書き方の工夫の定着を意識した指導**

<学習活動例> ○グループで報告文を読み合い、書き表し方の工夫やよさについて交流し合う。

グループで友達が書いた報告文を読み合しましょう。相手に分かりやすく伝えるための書き方の工夫やよさを見つけましょう。



主体的、対話的で深い学びの視点

はじめ・中・終わりを意識して書いてあるので読みやすいね。

読み手に呼びかけるような表現が使われているともっと読みたくなるね。

調べたことだけでなく、自分が経験したことも取り入れて書いているね。

文章に合った写真や絵が入れているのが分かりやすいね。



☆口頭で書き方の工夫や表現のよさを伝えるだけでなく、付箋に書き原稿に貼り付ける工夫も効果的です。付箋に記入し可視化させ記録として残すことで児童が自分の文章における工夫のよさを改めて確認し、気付くことで評価することができます。また、以下のような文章の書き方や工夫についての指導を継続して行うことも大切です。

例



<理由を表す表現>  
「なぜか」と  
「だから～」「～からです。」「～のためです。」

<接続する語句>  
まず、それから、次に、さらに、このようなことから、

<事例の表し方>  
「例えば～」 「事例を挙げると～」 「～などがそれに当たる」

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】

コバトン問題集  
4年生 国語  
レベル6 書くこと

- 1 自分の考えを強調するために、複数の事から共通する点をまとめている。
- 2 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。
- 3 自分が伝えたいことをくわしく示すために、具体的な事例を取り上げている。
- 4 読み手を説得するために、表やグラフを用いながら自分の考えを書いている。

【レベル6】

【説明の文章の一部】

昔から、日本の食事は「汁三菜」というんだけど、取り入れられてきた。「汁三菜」とは、主食のご飯に、汁物と三菜のかずを組み合わせるものです。組み合わせることで、一度にいろいろな栄養素をとることができる。「このことについて、下のわが家の昨夜のこんだてを例にして説明します。主食の飯からは主に炭水化物を、汁物からわかめが入ったみそ汁からはたんぱく質と無機質をとることができます。さばの焼魚からは主にたんぱく質、かぼちのにもたんぱく質のりものからは、ビタミンをとることができます。」

（わが家の昨夜のこんだて）

たしかめプリント「小学校三〜四年生」書くこと

年組 番名前



答え

○ 調査問題

14

次の文は、田中さんが書いた文です。田中さんは文の見直しをして、文の途中で主語が変わっていて読みにくいと思い、書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、あとの□にあてはまる言葉を書きましょう。

本を読んでいるうちにねてしまって、妹がぼくを起こした。

本を読んでいるうちにねてしまって、ぼくは□。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 主語と述語の関係を理解し、適切な文の形に直して書く。

【出題の趣旨】 文の構成を理解し、適切な形に書き換える。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 「妹に起こされた」	9 その他の解答	0 無解答
反応率	57.8%	38.7%	3.5%

- 正答率は57.8%であった。主な誤答は、「妹に起こしてもらった」であった。「妹を起こした」という誤答は少なく、主語と述語の関係を理解していないわけではないと考えられる。しかし、「起こされた」と「起こしてもらった」の表現の違いがあまり身に付いていないと考えられる。
- 「主語を選びましょう。」など、基本的な問題はできるが、実際の場合で主語・述語の関係を理解し、「文の意味が変わらないように」書くという条件を捉えることが難しいと考えられる。
- 主語と述語の関係を考えながら、意味が変わっていないか、2つの文を比較させる必要がある。

## ○ 指導上のポイント

### 「書くこと」の学習過程で正しい主語・述語の使い方を取り上げる指導

<学習活動例>① 「「図書せいせん会」をしよう」で、原稿の推敲をしている時に、主語・述語の使い方を取り上げる。



図書せいせん会の原稿を推敲していて、「大造じいさん」を中心にした内容の原稿を書いていただけ、**「残雪」**を中心にした内容の原稿にする場合、この一文をどのように直したらよいでしょう。

「大造じいさんは、残雪をねらいました。」

まずは、この文の主語を探してみましょう。この文の主語は何でしょう。

大造じいさんは、**残雪を** **ねらいました。**

述語→主語

“ねらったのは誰なのか” 考えてみるとわかりやすいですね。

ねらったのは「大造じいさん」なので、主語は「大造じいさん」です。



そうですね。では、「残雪」を中心にした原稿内容を書きたいとき、どのような文末にしたらよいでしょう。

主語→述語

答え：残雪は、大造じいさんに ねらわれました。



<学習活動例>② 普段の学校生活の中で、主語・述語の使い方について考える場面を作り、取り上げる。

～朝の会でのスピーチ～

昨日、私は白川さんと青山さん、原田さんの4人で遊びました。しばらくすると、白川さんは、私を呼びました。そして、たくさんのお菓子をくれました・・・



白川さんは、私を呼びました。の「呼びました。」を「呼ばれました。」と変えて言う時、どのように文を変えたらよいでしょう。

述語→主語

答え：私は、白川さんに 呼ばれました。



主体的、対局的で深い学びの視点



☆主語・述語を入れかえる学習をして、述語に着目させましょう。さらには、「ねらわれました。」  
「ねらわれてしまいました。」など、文末の違いにも着目させ、意味の変化にも気付かせるようにすることも大切です。

## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】  
R2 復習シート  
4年生・国語  
1 言葉



- (2) 急に寒くなってきたので、上着を着た。  
(1) 体を温めるために、部屋の温度を上げた。

読みがな  
める  
アイ

- ③ 【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】  
次の漢字の1線部の読みがなを書き、音読みが訓読みかに書きますよ。

ア 音読み イ 訓読み

主語  
述語

- (2) きりのう 動物園で、きりんが 楽しんで 食べたい。

主語  
述語

- ② 【文中の主語・述語にあたるものを選択する問題】  
次の文の主語・述語を1線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

- (1) わたしは、妹と、楽しく、公園で、遊ぶ。

- 1 パック  
2 はつか  
3 はつねつ  
4 パック

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

- ① 【国語辞典に出てくる順に言葉を選びかえる問題】  
国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

組	番号	名前

復習シート 第四学年 国語



埼玉県学力・学習状況調査(小学校)言葉

○ 調査問題

1 「発酵食」は、うまみや風味が豊かであることを伝えられる。

2 「発酵食」が、身の回りにもあるものだということを伝えられる。

3 「発酵食」へど、さまざまな食品が変化していくことが伝えられる。

4 「発酵食」には、栄養分が多くふくまれていることが伝えられる。

5 「発酵食」は、他の食品と比べて保存性が高いことが伝えられる。

「納豆」と「ゆで大豆」の比較

たんぱく質の量(グラム)

大豆 2.4g

発酵大豆 7.0g

たんぱく質の量(グラム)

大豆 納豆

ゆで大豆

※納豆はゆでた大豆を発酵させたものです。

(2) 【話し合いの様子】に、資料を示すこととありますが、話し合いのあと、石田さんたちは発表で次の資料を提示することにしました。この資料を示すことの効果として適切なものを、あとの1～5の中から二つ選びましょう。

石田さん：原稿の「発酵食とはどのようなものか」についての部分をどう読めばいいか話し合います。

山村さん：発酵食は「食品を変化させたもの」ということですが、食品が変化するというのがどういうことかわかりにくいと思います。

花田さん：「何が」どのように「変化するか」を具体的に書いた方が伝わるということではないかと。

山村さん：はい、そうですね。

花田さん：いいですね。

石田さん：他に意見はありますか。

長井さん：聞いている人が納得できるように資料を示すと良いと思います。

話し合いは続く。

14 石田さんのグループは、「発酵食」について調べたことをクラスで発表することになりました。次の【発表原稿の下書きの一部】と、推敲のための「話し合いの様子」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【発表原稿の下書きの一部】

次に「発酵食」とはどのようなものか説明します。

「発酵食」とは微生物の力で食品を変化させたものです。

「発酵食」の特徴は主に四つあります。一つめは、ビタミンなどの栄養が多くふくまれていることです。二つめは、うまみや風味が豊かということです。三つめは、腸内の環境を整えてくれることです。四つめは、保存がきくものもあるということです。「発酵食」は私たちの健康を保つためにもよいものなので、食生活に取り入れたいですね。

「発酵食」は、私たちの身の回りにたくさんあります。たとえば、納豆や、キムチ、しょうゆや、みそ、お酢やヨーグルトなどです。

話し合いは続く。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 資料を用いることによる効果を選択する。

【出題の趣旨】 資料を活用する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 2と4を 解答	2 2と4以外 を解答	3 2以外と4 を解答	9 その他の 解答	0 無解答
反応率	28.1%	9.2%	37.3%	15.0%	10.3%

- 正答率は28.1%であった。資料全体を見渡したり見出し等の言葉に着目したりして、目的に応じて資料を用いることの効果を考える力を付けることが求められる。
- 誤答のうち「2以外と4を解答」した割合が37.3%と高かった。理由としては、資料の下段にあるグラフに着目して「栄養分が多くふくまれていることが伝えられる」というグラフの効果は読み取れたものの、見出しの言葉に着目したり資料全体を見たりすることができていないことが考えられる。
- 中学年の説明的な文章の学習経験から、資料の「みそ、納豆、しょうゆ」の絵に着目して「食品が変化していく」と考え、選択肢3を誤って選択しまった児童がいると考えられる。

## ○ 指導上のポイント

### 効果を考えて資料を活用する「話すこと」の指導

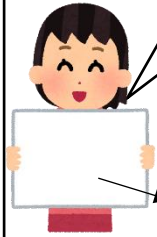
<学習活動例> ○地域の魅力について調べたことを友達に伝えよう。



今日はグループの中で発表の練習をします。発表を聞く人は、話し手の伝えたいことが準備した資料で伝わるかを考えながら聞きましょう。

略) 外の人から人気があり…(以下  
みずしくとも甘いので、町内  
目と味のよさです。赤くても見た  
す)特徴はなんといいっても見た  
培されています。(資料②を示  
や「紅ほっぺ」などの品種が栽  
ちおとめ」を主流に「あきひめ」  
つています。(資料①を示す)「と  
内でも有数のいちごの産地とな  
す。品質・生産量ともに埼玉県  
この町の特産品はいちごで

〈発表原稿の下書きの一部〉



私は町の特産品、いちごの魅力を伝えたいけど、この資料で伝わるかな。



(資料②)

とちおとめ  
あきひめ  
紅ほっぺ

(資料①)

資料①はどんな品種が栽培されているのか確認できるね。『栽培されているいちごの品種』など「見出し」があると、もっと分かりやすくなるね。



資料②は写真なので、「赤くてもみずみずしい」といういちごの特徴がよく伝わるね。見やすく、とてもいい資料だと思う

「埼玉県でも有数のいちごの産地」というのが言葉だけだと伝わらないかな。町ごとの生産量をグラフなどで示すと、さらに分かりやすくなると思うよ。



☆「資料を活用する」とは、説明を補足したり、伝えたいことを強調したりする場合などに、資料を効果的に用いることです。その際、相手の立場に立った上で、目的に応じて、どのような資料を準備し、どのように使うかを明確にすることが大切です。

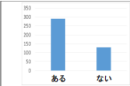


## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【出典】  
R1 復習シート  
6年生・国語  
レベル8・9  
書くこと

\*資料の活用については、「話すこと・聞くこと」だけでなく、「書くこと」においても意図的に指導することが大切です。

【資料②】  
本校のうろう下を走って、人にぶつかったことがある人



【資料①】  
どおりの学校のうろう下を走り回すための工夫

- ・給食の放送で呼びかける
- ・校内にポスターをはる
- ・おたがいに注意をしよう

条件	内容
条件①	一段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。
条件②	使うのがよいと思うか、一つだけ書くことについて、何がどのようによくなるかを(効果)を、(資料)を使って説明しよう。

【資料を使う前のスピーチ】

私は、みんながうろう下を走ると危ない学校にしたいです。  
条件① 一段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。  
条件② 使うのがよいと思うか、一つだけ書くことについて、何がどのようによくなるかを(効果)を、(資料)を使って説明しよう。

目的に応じて玉印をあげながら自分の考えを明確にする問題解決型学習  
生活委員会の川村さんは、安全な生活について集めて発表することになりました。全校に伝えるとき、資料を一つだけ使用することにしました。あなたも川村さんにとお話を聞いてみて、また、選んだ資料を使うことにより、どのような効果がありましたか。あとの条件に当てはめて発表を準備してください。

あなたは、うろう下を走ったことありますか。うろう下を走ると危ないかわかっていても、つい走ってしまう、危ない目にあつたことある方もいると思います。私は先日、授業で走れそうだったので、あつてうろう下を走ってしまいました。曲がり角を曲がった瞬間、下級生とぶつかったんです。私は、けがはなかったのですが、ぶつかった下級生は、転んでしまいました。足にあざができてしまいました。私は、うろう下を走ると危ないから、うろう下を走らないようにしようと思いましたが、生活委員として、うろう下を走らないうろう下を走らせないよう、みんなにお願いしたいです。私は、みんながうろう下を走らないうろう下を走らせない学校にしたいです。

埼玉県学力・学習状況調査(小学6年) 復習シート 第六学年 国語



○ 調査問題

- (1) 岸本さんのインタビューのしかたの工夫として適切なものを、次の1～5の中から二つ選びなさい。
- 1 質問の答えに相づちを打つことで、相手が話をしやすいようにしている。
  - 2 言葉をかえて質問をくりかえすことで、意図を正しく伝えようとしている。
  - 3 質問の答えに対してさらに理由をたずねて、相手から話を引き出している。
  - 4 事前に調べた内容と比べながら質問して、新たな情報を得ようとしている。
  - 5 相手の言葉を言い換えてたずねて、自分の理解が正しいかを確認している。

インタビューの一部

岸本さん：この地域には和紙作りの工房がいくつかありますが、和紙作りが昔からあるのですか。

宮田さん：はい、そうですね。この辺りは和紙作りに適していて、千三百年ほど前から和紙が作られて、と書かれています。

岸本さん：なぜ、この辺りは和紙作りに適しているのですか。

宮田さん：和紙を作るための植物と、和紙作りに必要な水があるからです。

岸本さん：和紙を作るための原料と職人がそろっているということでしょうか。

宮田さん：そうですね。

岸本さん：和紙の原料について教えてください。

宮田さん：和紙の原料には「コウ」や「ミヅマ」などがありますが、「この地域では」「コウ」を原料に使っています。「コウ」はタワのなかまの草木です。

岸本さん：「コウ」で作った和紙には、どのような特徴がありますか。

宮田さん：「コウ」は光が透って繊維がほろいので、美しく丈夫な和紙ができます。

岸本さん：よくわかりました。

宮田さん：ここで作っている和紙には、色がやや黄ばんでいるという特徴があります。製作過程で、和紙の色を白くするための薬品を使わないためです。

インタビューは続く。

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 インタビューのしかたの工夫として適切なものを選択する。
- 【出題の趣旨】 インタビューのしかたを工夫する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 3と5を解答	2 3と5以外を 解答	3 3以外と5を 解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	18.9%	45.3%	12.7%	20.9%	2.3%

- 正答率は18.9%であった。インタビューの聞き手の言葉を丁寧に読み、一つ一つの質問にどのような意図があるかを捉えることが求められる。
- 主な誤答は、2の「3と5以外を解答」であった。理由としては、選択肢5の「相手の言葉を言い換えてたずねて、自分の理解が正しいかを確認する」ということが児童の経験として不足しており、どの質問文が、自分の理解が正しいかを確認する文なのかが分からなかったと考えられる。
- 誤った選択肢の1, 2, 4には、「相づちをうつ」「質問をくりかえす」「事前に調べた内容」といった児童に馴染みのある言葉が並んでおり、問題文のインタビュー内容と十分に照らし合わせることなく、正答となりそうなものを、個人の経験から予想して選んでしまっている可能性が考えられる。

# ○ 指導上のポイント

## 考えを伝え合う活動において、どのような質問の仕方が効果的かを考える指導

○相手の考えを伝え合う活動の中で、どのような質問の仕方がより相手の伝えたいことを引き出すことができたかを振り返る指導を行う。

### <学習活動例>



友達と対話をして、「こんな質問をしてくれてうれしかった」「この質問をしたら話が広がった」と感じた質問はありましたか。話し合いを振り返りましょう。

#### 対話の例①

B「どうして～と思ったの？」のように、理由を聞いてくれた時は、くわしく説明することができてうれしかったよ。

A相手が話している時には、相づちをうつようにして、話を分かっているということが伝わるようにしたよ。そうすると相手も安心するのか、たくさんのことを話してくれたような気がしたよ。

#### 対話の例②

B質問する時は、どんなことを工夫して質問していたの？

A相手が考えを言った時、「それは～～ということですか？」というように、自分が感じたことが合っているか、確認するようにしたよ。

Bなるほどね。そうしてもらえると私も、言いたいことが伝わったことが分かって、安心した気持ちになったよ。



Aさん



Bさん



友達と話をして、どんな聞き方をすれば良いか、考えることができましたね。分かったことを、「聞き方のポイント」としてまとめてみましょう。

☆ 聞き方のポイントをまとめたものは、教室に掲示するなどして、他の単元や教科でも活用できるようにすると良いです。質問の仕方を振り返る活動は、繰り返し行うことで、より相手の伝えたいことを引き出すことができる質問の仕方を身に付けることにつながります。

聞き方、話し方のポイントを小・中学校で情報交換をするなど、小・中学校で段階的な指導が行えるように工夫することも考えられます。

# ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

## 【出典】 コバトン問題集 話すこと・聞くこと⑥

二 「わが町の達人」の……で、……は……。……として活用して……を……です。

1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がくりし出した言葉を用いながら質問をしている。

2 相手に質問する理由を説明しようとするように、「コバトン」の目的を伝えて質問をしている。

3 相手が答えやすいように、自分からたづねたり、自分からたづねたりして質問をしている。

4 相手の話のほかに分かっていない部分があったため、その部分の意味を確かめる質問をしている。

大谷さん 友達が話している時に、相づちをうつようにして、話を分かっているということが伝わるようにしたよ。

大谷さん B「どうして～と思ったの？」のように、理由を聞いてくれた時は、くわしく説明することができてうれしかったよ。

大谷さん B質問する時は、どんなことを工夫して質問していたの？

大谷さん A相手が考えを言った時、「それは～～ということですか？」というように、自分が感じたことが合っているか、確認するようにしたよ。

大谷さん Bなるほどね。そうしてもらえると私も、言いたいことが伝わったことが分かって、安心した気持ちになったよ。

大谷さん 友達と話をして、どんな聞き方をすれば良いか、考えることができましたね。分かったことを、「聞き方のポイント」としてまとめてみましょう。

大谷さん 友達が話している時に、相づちをうつようにして、話を分かっているということが伝わるようにしたよ。

大谷さん B「どうして～と思ったの？」のように、理由を聞いてくれた時は、くわしく説明することができてうれしかったよ。

大谷さん B質問する時は、どんなことを工夫して質問していたの？

大谷さん A相手が考えを言った時、「それは～～ということですか？」というように、自分が感じたことが合っているか、確認するようにしたよ。

大谷さん Bなるほどね。そうしてもらえると私も、言いたいことが伝わったことが分かって、安心した気持ちになったよ。

大谷さん 友達と話をして、どんな聞き方をすれば良いか、考えることができましたね。分かったことを、「聞き方のポイント」としてまとめてみましょう。

【出典】  
コバトン問題集  
話すこと・聞くこと⑥

「わが町の達人」の……で、……は……。……として活用して……を……です。

1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がくりし出した言葉を用いながら質問をしている。

2 相手に質問する理由を説明しようとするように、「コバトン」の目的を伝えて質問をしている。

3 相手が答えやすいように、自分からたづねたり、自分からたづねたりして質問をしている。

4 相手の話のほかに分かっていない部分があったため、その部分の意味を確かめる質問をしている。



○ 調査問題

(2) 文末の表現が他と異なる一文があります。その文末を他の文末と同じように書き直しなさい。

【体育祭の「スローガン」募集のお知らせの下書き】

7月5日  
第三中学校生徒会

体育祭の「スローガン」募集のお知らせ

夏休みが目前となりました。みなさん、部活動に勉強に頑張っていることでしょう。

さて生徒会では、10月実施予定の体育祭のスローガンを募集しています。過去4年のスローガンは「①走れ、走れ、走れ」、②つかめ勝利を、③闘志が叫ぶ、④魂が躍るでした。今年も第三中学校の熱い体育祭にふさわしいスローガンの応募をお待ちしています。

記

1. 募集期間 7月5日(金)～7月19日(金)
2. 提出場所 生徒会室前の回収箱
3. その他
  - スローガンは10字以内としてください。
  - スローガンは生徒会役員で協議して決める。
  - 結果は、9月はじめに発表します。

以上

9 生徒会役員の山下さんは体育祭に向けて「スローガン」募集のお知らせを書いています。次は、その「体育祭の「スローガン」募集のお知らせの下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 敬体・常体の不統一を正し、より良い表現に直して書く。

【出題の趣旨】 文を読み返し、さらにより良い文にする。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 「決めます」と解答	9 「決めてもらいました」 「決めてもらいます」	0 無解答
反応率	56.4%	29.0%	14.6%

- 正答率は56.4%であった。正答は「決める」という常体を「決めます」という敬体に直すものである。問題文の「文末の表現」という言葉から「常体」「敬体」を直すことを推測できる力が求められる。
- 主な誤答は、「勝利をつかめ」であった。理由としては「つかめ勝利を」で用いられている倒置法に着目してしまったということが考えられる。また、問題文の「文末の表現」を正しく理解できていなかったと考えられる。
- 無解答に関しては、問題文の意図が捉えられなかったと考えられる。授業において日常的に「常体」「敬体」等、文末表現を意識させる指導が必要である。

## ○ 指導上のポイント

### 文章の書き方・推敲における指導

<学習活動例>○表現の効果などを確かめて、より良い文章にする。

今日のねらいは「表現の効果などを確かめて、より良い文章にする」です。みなさんが書いた手紙について、小学校の先生に自分の思いが効果的に伝わるよう「推敲のポイント」をもとに推敲してみましょう。



主体的、対話的で深い学びの視点



【橋本さんの手紙】  
田中先生、お久しぶりです。お元気ですか。先日、妹から先生のお話を聞き、懐かしくなり手紙を書きました。  
私は中学校でテニス部に入りました。練習は毎日大変。しかし、その分やりがいもあります。気が置ける仲間もいます。私の目標は、このメジャーで県大会に出場したいです。今度、地区予選大会があります。：



「練習は毎日大変」という文があるけれど、この文末表現のままでいいのかな？

他の文は全て「～です。」や「～ます。」と敬体の表現になっているね。そうすると「毎日大変です。」としたほうが良いね。



「私の目標は…」の主語と述語は大丈夫かしら…

ぼう線の他にも直すところがありそうよ。「気が置ける…」は、言葉の意味が正しくない気がするわ。



小学校でも、みんなで読み合って、推敲しましたね。小学校の先生宛ての手紙としてふさわしい手紙にしましょう。

小中連携  
の視点

- 推敲のポイント
- ① 仮名遣いや漢字の使い方
  - ・ 仮名遣いは正しいか。
  - ・ 漢字や送り仮名に誤りはないか。
  - ② 言葉の意味や使い方
  - ・ 主語や述語の係り受けは正しいか。
  - ③ 読む相手への配慮
  - ・ 文末表現はそろっているか。(常体・敬体) …

## ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

### 【出典】

H30復習シート  
中学1年生・国語  
レベル7～9  
書くこと

2 ―― 線部について、適切な表現となるように正しく書き直さない。  
( 伝わらなかったのだ ) ( ↓ ) ( )

【目的や意図に応じて内容の中心を明確にして書く問題】  
□ 上原さんは、「身近な言葉」について、考えたことを文章にまとめました。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 **レベル7**

言葉は移り変わることも言われますが、私は、正しい言葉のつかい方を知ることが大事だと考えます。  
最近、私たちの周りでは「やばい」という言葉がよく使われます。先日、私が母と筆箱を買いに行ったときのことです。とてつかわいしい筆箱を見つけ、私が母に「この筆箱、やばいね」と言いました。その時、母は「やばい」と聞いて、「やばい、悪い筆箱だ」と受け、「やばい」と、不思議そうに言いました。私は、「母が、やばいって、悪い筆箱だ、理屈が分かりません。でも、このこと、後から思い返すと、わたしは悪い筆箱です。やばい」と表現したことを、母は、良くない意味でとってしまったのではないかと思いました。そこで、「やばい」の意味を書き添えてみました。すると、「不正な何か悪いことがわるい」とあり、また、つまり、私が本来とは違う意味で「やばい」という言葉を使ったため、母に上手く伝わらなかったのだ。

このように、私たちは言葉の本来的意味を深く考えずに使っていることが多くあります。そのため、時として全く反対の意味として相手に伝わってしまうこともあるのです。だからこそ、

□ が大切だと考えられます。

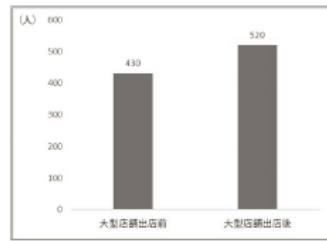
○ 調査問題

16

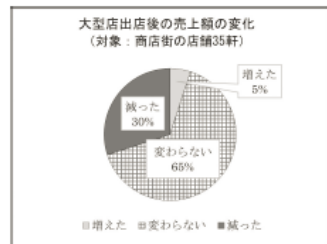
条件1 二段落構成で、六行以上、九行以内で書くこと。  
 条件2 一段落目には、近所の商店街にとって大型店が出店するのと出店しないのとどちらが良いと思うかを書くこと。  
 条件3 二段落目には、そのように考えた理由を【資料1】、【資料2】の両方の内容に触れて書くこと。

※ 解答は必ず解答用紙に書きなさい。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。  
 ※ 読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に書き加えたりしてもかまいません。

【資料1】商店街への1日あたりの来客数



【資料2】商店街の店舗へのアンケート



中西さんのクラスでは、「商店街に活気を取り戻す方法」を考えています。中西さんは、商店街をインタビューしました。すると、商店街ではお客さんを増やすために、食品や生活用品を扱う大型店（スーパーマーケット）の誘致を検討しているということでした。その後、図書館の（余）資料コーナーで、市の別地区の商店街に大型店が出店する前と後の比較の資料を見つけました。すると、中西さんが見つけた【資料1】、【資料2】を見て、あなたは近所の商店街にとって大型店が出店するのと出店しないのとどちらが良いと思いますか。どちらが良いと思うかと、その理由を、あとの条件1・条件3にしたがって書きなさい。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 自身の意見を資料の内容に基づきながら、二段落構成で書く。

【出題の趣旨】 資料の内容をもとに、自身の意見を書く。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答	2 段落の 誤答	3 形式不備の 誤答	4 理由が 不適切	9 2 3 4 の複合	0 無解答
反応率	51.4%	6.5%	0.8%	26.1%	7.9%	6.9%

- 正答率は51.4%であった。
- 条件1の「二段落構成で、六行以上、九行以内で書くこと」について、「二段落」の表記を見落としていることや、条件2・3のそれぞれの段落に指定の内容を書くという、「位置」の条件について理解できないことが考えられる。
- 賛否に対する理由について、理由を書くために必要な情報に注目はできていないもの、説明が足りず不明瞭のため不可となる解答が多かった。読み取った情報を伝えたい相手に対して的確に表現するための指導が必要である。

# ○ 指導上のポイント

## 資料を引用して、自分の考えを分かりやすく書く「書くこと」の指導

### <学習活動例>



主体的、対話的で深い学びの視点

今回の単元では、総合的な学習の時間で学習した「環境問題」をもとに、グラフや図表、写真を用いて意見文を書きます。  
読み手に自分の考えを分かりやすく伝えるために、図表やグラフ、写真を適切に用いるにはどうしたらよいですか？テーマが似ている人同士でグループを作って、書く内容の案を出し合ひましょう。

地球温暖化をテーマにしている生徒の話合い



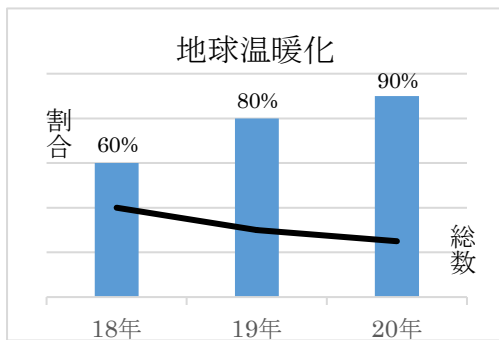
僕は、地球温暖化について書くつもりだけど、どんな図表を選択したらよいかな？

まずは、世界の温暖化がどのくらい進行しているかを表す図表を用いたら、説得力が増すのではないかしら？



地球の平均気温のグラフと、海面上昇を表したグラフがいいと思うよ。

海面が上昇して、水没の危機にある島の写真もインパクトがあると思うわ。この写真を引用すると、読み手に危機感が伝わるのではないかな？



グラフから、情報を適切に読み取れていますか？割合は増えているけれど、総数は減っているという場合があるから、注意が必要です。



書くときには、相手に何を伝えたいかによって、適切な資料も変わってきますね。

# ○ 復習シート・コバトン問題集の活用

**【出典】**  
R2復習シート  
中学3年生・国語  
レベル9  
書くこと

条件1 「政府構成」とし、「政府目録」では、「敬語」を使うことは必要か、必要と感ぜないか、どちらの立場であるかを書くこと。

条件2 「政府目録」では、その理由を資料1や資料2の内容と照らし、具体的に書くこと。

条件3 文章は、六行以上、九行以内で書くこと。

**資料1 敬語は必要だと思うか(%)**

必要だと思う	84.5
あまり必要はないと思う	13.6
必要とは思わない	0.4
分からない	0.5

**資料2 敬語を使うことが、人間関係を円滑にするのに、マイナスと感じるのほどかどうか(%)**  
※複数回答

相手の距離を縮めることができないとき	53.5
敬語を使い過ぎてしまうとき	33.4
言いたいことが伝わりにくくなる時	31.8
言葉がうまく出てこないとき	26.8
自分の気持ちを込められないとき	25.0
その他	15.4

【「敬語を明らかにして自分の考えを書く問題」】  
次の資料は敬語について、A中学校の生徒を対象に調査し、その結果をまとめたものです。  
国語の授業で、この資料をもとに「敬語」について、一人ひとりが考えをまとめ、地域の公民館でスピーチをするつもりです。あとの条件に従って、あなたの考えを書きなさい。